

“DANCE THE STORY”バルカーカップ 2026 競技規程

0. 総則

本規程は、「“DANCE THE STORY”バルカーカップ 2026」(以下「本大会」という)の競技実施に関する詳細を定めるものであり、「“DANCE THE STORY”バルカーカップ 2026 大会要領」「“DANCE THE STORY”バルカーカップ 2026 楽曲規程」とともに適用される。

1. カテゴリーおよび出場条件

1-1 カテゴリー構成

本大会は、以下 2 つのカテゴリーで構成する。

カテゴリー1: チーム部門

- ・ 8 人以下のチーム編成
- ・ 8 分以内の演技

カテゴリー2: ペア部門

- ・ 2 人(ペア)
- ・ 4 分以内の演技

* 両カテゴリーを兼ねて出場することはできない。(カテゴリー1 と 2 の重複エントリーは禁止する)

1-2 出場資格(国籍等)

出場者は、性別、プロ・アマ、年齢等を問わずエントリーできる。但し、以下の国籍条件を満たす必要がある。

- ・ カテゴリー1(チーム) : チームの半数以上が日本国籍を有すること
例) 5 人チームなら日本国籍 3 名以上、8 人チームなら日本国籍 4 名以上
- ・ カテゴリー2(ペア) : ペア的一方が日本国籍を有していること

2. 使用楽曲

2-1 使用楽曲については、別に定める「“DANCE THE STORY”バルカーカップ 2026 楽曲規程」に従う。

2-2 著作権法遵守のため、出場者は、指定された期限までに主催者に対し、使用楽曲データを事前提出しなければならない(大会要領(シラバス)で定めるエントリー期限・楽曲提出期限に従い、楽曲数の制限は設けない)

2-3 出場者は、楽曲提出時には、作品のストーリー(後述)も併せて提出すること。

2-4 既存曲を使用する場合は、権利者の定める範囲内で使用し原曲の無断改変(テンポ変更、ビートの追加、ピッチシフト等)は行ってはならない。

2-5 複数の既存曲をつなぎ合わせることは可能だが、必要に応じて曲間に明確な区切り(ポーズ等)を設けるなど、著作権上問題のない構成としなければならない。

2-6 オリジナル制作による楽曲を使用する場合は、楽曲規程に定める範囲で自由に作成・使用できる。

3. 作品とストーリー

3-1 出場者は各カテゴリーの規定時間内のショーダンス(ストーリー性のあるダンス)で競うものとする。

3-2 各作品は「“DANCE THE STORY”バルカーカップ 2026 楽曲規程」に則っていなければならない。

3-3 ストーリー提出

出場者は、エントリー時(または主催者が指定する期限)までに、使用楽曲データとともに、作品のストーリー内容を主催者に提出しなければならない。

3-4 ストーリー条件(カテゴリー別)

- ・カテゴリー1(チーム)

主催者から提示される4つのストーリーの中から1つを選択し、そのストーリーをもとに各チームが独自に企画・構成・演出した内容とする。

- ・カテゴリー2(ペア)

ストーリーは自由とする。

4. ダンスジャンル

ダンスジャンルは、以下を基本とする。

1. ストリートダンス全般
2. バレエ及びコンテンポラリーダンス
3. ジャズダンス
4. 社交ダンス
5. その他(日本舞踊、ダブルダッチ等、ストーリーを表現できるものは全て出場可能)

なお、使用する床面仕様については、東リ製「プレーン NW」黒とする。その他ステージ仕様等について追加・変更事項がある場合は、主催者が別途発表する。

5. 予選および本戦

5-1 本戦においては、カテゴリー1、カテゴリー2ともに各10組による決勝戦のみを行う。

5-2 各カテゴリーで10組以上のエントリーがあった場合は、本戦前に予選を行う。

5-3 予選の詳細(会場・日程・審査方法等)は、エントリー受付後、主催者より別途通知を行う。

5-4 予選開催後、本戦の進出者については主催者側で厳正なる審査の結果、決定する。

6. 審査方法および結果決定方法

6-1 審査構成

審査は以下2つの要素による複合審査とし、その合計点により順位を決定する。

審査員による専門審査(全得点の40%)

- ・ジャンル①～④(ストリート/バレエ・コンテンポラリー/ジャズ/社交)の審査員各1名(計4名)、ジャンル⑤「その他」の審査員3名、合計7名での審査を行い、全得点の40%とする

*各ジャンル審査員は、自身の所属するジャンル以外の審査を行い、公平性が保たれる形で運用する

オーディエンス審査(全得点の60%)

- ・会場の観客およびライブ配信視聴者が、主催者より提供されるアプリケーション等を用いて投票する。

*投票者が「最も気に入った・感動した」と感じた作品に投票し、その投票数を点数化する。

6-2 審査項目

カテゴリー1・2ともに、以下の4項目で審査を行う。

- 1) ストーリー性:作品のストーリーの明確性(起承転結など)
- 2) ストーリーとの整合:ストーリーにおける「演出・音楽・振付(ダンス)」の調和
- 3) スペシャルティ:出場者(ペア/チーム)が見せるスター性・斬新さ・独創性

4) ショー／エンターテインメントとしてのクオリティ:作品全体としてのショー性、エンターテインメント性

6-3 審査員の関与条件

各ジャンルの審査員は自身が担当するカテゴリー以外に限り、審査を行う。(関係者審査での公平性を保持するため)

6-4 同点時の順位決定

決勝および準決勝(予選を含む)のいずれにおいても、合計点が同点となった場合は、

1)ストーリー性 → 2) ストーリーとの整合 → 3) スペシャルティ → 4) ショー性

の順に、小計得点の高い作品を上位とする。

例) 総得点が同点→1)の項目の総得点が高い方が上位→それも同点の場合→2)の項目の総得点が高い方が上位→以降優先順位は 3)、4)、5)の順となる。

7. リハーサル

準決勝(または本戦決勝)の出場者には、大会当日会場において、各カテゴリーの1組あたり以下の時間を目安としたリハーサル時間(フロア・楽曲・照明の確認)が割り当てられる。

・カテゴリー1 : 11 分間 (競技時間 8 分+3 分)

・カテゴリー2 : 7 分間 (競技時間 4 分+3 分)

但し、会場設営等の都合により、個別のリハーサル時間がそれぞれ短縮される場合がある。

8. 入退場および演技時間

8-1 カテゴリー1(チーム)

- ・フロアへの入場または曲のスタートのいずれか早いタイミングから、全員の退場が完了するまでを8分以内とする。
- ・作品紹介アナウンス後のフロアへの入場は、舞台下の所定位置(2か所)から舞台上がり舞台中央の花道を通る1ルートのみとする。また、フロア入場の際、呼吸を整える程度立ち止まることは可とするがフロア入場前に立ち止まってのパフォーマンスは不可とする。なお、退場箇所はフロア内であれば自由とするが舞台を通過しての退場は不可とする。
- ・曲のスタートタイミングは、出場者が指定する任意の時点とする。
- ・「入場」とは、メンバーのうち一人でもフロアに足を踏み入れた時点をいう。
- ・「退場」とは、メンバー全員の足がフロアから完全に出了た時点をいう。

8-2 カテゴリー2(ペア)

- ・フロアへの入場または曲のスタートのいずれか早い方から退場までを4分以内とする。
- ・曲のスタートタイミング・入場・退場の定義は、原則としてカテゴリー1に準ずる。

9. 照明

9-1 主催者は本大会出場者に対し、事前に使用可能な照明機器を伝えなくてはならない。

9-2 本大会に出場する出場者は、指定の期日までに照明台本を提出しなくてはならない。

10. 衣装

服装は自由とする。

但し、衣装費は原則として1作品あたり50万円程度までをあくまで目安とする。また多人数構成の作品においては、人数に応じて衣装費の総額が上記の目安を超える場合があることを妨げないものとする。

(参加者間の公平性を保つためのガイドライン)

11. 小道具・大道具

- 11-1 出場者の衣装の一部ではないアイテム、衣装と切り離すことができるアイテムは小道具とみなす。
- 11-2 小道具・大道具の運搬、設置および撤去は、各チームの責任において行うものとし、演技者自身が実施すること。演技者以外の者による搬入、設置および撤去は認めない。
- 11-3 小道具・大道具の設置および撤去は、競技時間内にフロアへの入退場時に行うものとする。
なお、小道具・大道具の設置および撤去に要する時間は競技時間(8分または4分)に含む。
- 11-4 小道具および大道具の使用にあたっては、フロアパネル等を傷付け、または損傷することのないよう、十分に配慮すること。

12. 演技順

演技の順番は、当日出場する全ての出場者または代表者の立会いのもと、抽選により決定する。

13. シード出場者

以下の出場者は、本大会のシード出場者として予選参加を免除する。

- ・2025 バルカーカップ ジャパンオープン ショーダンス出場者権の優勝者(1組)
 - * 当該出場者権と同一ペアであること。(チームに参加する場合も含む)
 - * シード出場者が不出場の場合、主催者の推薦により2位以降の出場者にシード権を付与する
場合がある。
- ・「VALQUA CUP PRESENTS Grab a dream2025」で選ばれたシード出場者(2組)
 - * 同選抜の同一ペアを含むチームは、カテゴリ1へのシードを特別に許可する。
- ・主催者が選出・推薦した出場者

14. 規程違反およびペナルティ

- 15-1 規程違反を監視するため、会場にはチェッカーを配置する。
- 15-2 本規程または関連規程(楽曲規程、シラバス、会場利用規則等)に違反した場合、原則として当該作品の総得点の10%を減点する。
- 15-3 悪質な違反・安全上重大な問題・公序良俗に反する行為が認められた場合、審査委員長および主催者の判断により、さらなる減点、出場停止、賞の取り消しなどの措置を行うことができる。

15. 審査委員長の権限

本大会において、競技が本規程に則り公正かつ適正に行われるために必要な決定について、最終決定権は審査委員長に与えられる。

16. 規程の改定

本規程は、主催者の判断により、必要に応じて改定される場合がある。